

本年度学校教育の努力点とその推進計画

1 テーマ 学ぶ意欲をもち続けることができる児童の育成

～ICTを活用した学習を通して～

2 テーマについて

本校では、昨年度までの3年間「特別の教科 道徳」の授業実践を通して、「やさしく」について深く考え、行動に移すことができる児童の育成を目指してきた。授業実践では、話し合い活動や板書計画、ワークシート等の工夫をすることで、「やさしさ」について考えを深めさせることができた。

しかし、学習面に目を移すと、学習に対する意欲はあっても、それを持続させることができない児童の様子が見られる。これは、基礎・基本が十分身に付いておらず、授業についていくのに苦勞をしていたり、対話的な活動が少なく、情報を交換・共有する機会が少なかったりすることが原因であると考えられる。

そのような中、文部科学省よりGIGAスクール構想が出され、一人1台のタブレットPCが配布されることになった。このタブレットPCを活用することで、基礎・基本を充実させたり、対話的な活動を多く取り入れたりすることができ、学ぶ意欲をもち続けることができる児童を育成することができるのではないかと考える。

以上のことから、タブレットPCを始めとするICT機器を活用する学習を通して、学ぶ意欲をもつ子どもたちのよさを生かし、より一層の学力向上を図っていきたい。

3 目指す児童像・研究の手立て

- タブレットPCを活用し、学ぶ意欲をもち続ける児童【主体的な学び】
 - ・ 児童がタブレットPCを活用し、自分の興味に沿って学習を進めたり、疑問を自らの手で解決したりできるようにする。
- タブレットPCを活用し、基礎・基本を身に付けることができる児童【基礎基本の定着】
 - ・ 児童がタブレットPCを活用し、これまでに学習した内容を確認したり、自分が苦手な問題を解いたりして、基礎・基本を身に付けることができるようにする。
- タブレットPCを活用し、対話的な活動ができる児童【共有・共感・協調・協働（対話的な活動）による学ぶ意味・意義の実感とより一層の学力向上】
 - ・ タブレットPCを活用し、友達と情報を交換したり、共有したりして、対話的な活動ができるようにする。

